

協働 フラッシュ

発行所 札幌市北区陸路町福移 147番地 36 社会福祉法人 札幌協働福祉会

第7回拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会

■2011年10月9日(日)午後、札幌市北区あいの里で「拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会」が開かれ、会場の地区センターには100名を超える参加者が集まりました。

会の冒頭、代表である福井一氏が開会の挨拶に立ち、3年前に始めたこの研究会は今後も地域の皆さんとのネットワーク作りを考えながら進めて行きたいと話されました。

第7回拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会
東日本大震災から考える地域の連携

◎今回の研究会は「東日本大震災から考える地域の連携」をテーマに拓北・あいの里での取り組みが紹介されました。

最初に福島県郡山市から研究会に出席された横田さん親子が原発被災地の現在の様子を話してくれました。息子さんの横田優(すくる)さんは現在中学2年生。今年夏の「おもいっきり夏休みin北海道」に参加、男子の年長として他参加者をまとめて下さいました。

横田さん親子は現在の状況を、「日々放射線の恐怖を感じながら日常生活を送っている」と時折声を詰まらせながらも話して頂きました。会場の皆さんは生の言葉で報告される被災地状況を静かに聞入りました。



写真・移動支援ボランティアグループでの活動の様子を報告する皆さん



写真・現在の生活の様子を話す横田さん親子



写真・柳森茂夫さんが話す拓北養護学校の開校時の様子に聞く参加者



写真・支援内容の説明、新たな取り組み等を話す皆さん